

II 教育研究組織

現状

本学の沿革および教育研究組織は次ページ以降の図表Ⅱ-1「設置学部・学科・大学院研究科等一覧表」、Ⅱ-2「教育研究組織」のとおりである。

3学科(英文学科、国際関係学科、情報数理科学科)は独自のカリキュラムを持ちながら、カリキュラムの相互乗り入れ、教員、学生の交流を図っている。カリキュラムの相互乗り入れについては、たとえば英語教育については英文学科が、英語以外の外国語教育について国際関係学科が中心となって全学のためのカリキュラムを編成し、情報教育については情報数理科学科が同じく責任をもってあたっていることや、図表Ⅲ-5、6、7にあるように各学科とも他学科の開講科目を卒業に必要な単位として履修できることなどがあげられる。

また、3学科の学生に保健体育科目を提供している保健体育教室および教育職員免許状取得のための教職課程、日本語教育のための基礎的な知識を身につけることを目的とした日本語教員養成課程が置かれている。

大学院には3研究科(文学研究科、国際関係学研究科、理学研究科)3専攻(英文学専攻、国際関係論専攻、数学専攻)があり、それぞれに修士課程と後期博士課程が設置されている。文学研究科、理学研究科は複数の他大学院と単位互換協定を結んでいる。

研究所は言語文化研究所、国際関係研究所、数学・計算機科学研究所の3つがある。研究所間における教員の交流も行われている。

教育・研究をサポートする機関として図書館に加え、視聴覚センター、計算センター、分散教育システム・リサーチ・センターがあり、学生・教職員へのサービス機関として、ウェルネス・センター、国際センターがある。視聴覚センターは、学生の語学学習におけるSpeaking、Listening 能力の強化をサポートするほか、教員の視聴覚教材の制作支援などを行なっている。計算センターは学内のコンピュータ環境の整備を図り、教育・研究及び大学運営のためのコンピュータ利用をバックアップしている。分散教育システム・リサーチ・センターは文部科学省ハイテク・リサーチ・センター推進事業の支援を受け、高度情報通信環境における教育システムの開発研究を行なっている。ウェルネス・センターは学生、教職員が心身ともに健康で充実した生活が送れるように、健康教育をはじめ、各人のウェルネス増進のためのさまざまなプログラムを提供しており、国際センターは、学生の留学や国際交流をサポートする機関として2001年度に設置された。

学芸学部の3学科が基礎となり、上記の大学院3研究科、3研究所、図書館、各センターは有機的に連動している。すなわち、英文学科は大学院文学研究科、言語文化研究所、視聴覚センターと、国際関係学科は大学院国際関係学研究科、国際関係研究所と、また情報数理科学科は大学院理学研究科、数学・計算機科学研究所、計算センターとそれぞれ密接な関係にある。また、保健体育教室はウェルネス・センターと連携し、図書館、視聴覚センター、計算センターとともに学生、教職員に対し、全学的にサービスを提供している。

評価および問題点と改善の方策

小規模大学の限られた人的・物的資源を最大限に利用し、教育・研究の組織が有機的に連動しているといえる。ただし、本学の中で学部から大学院に進学し、大学院修了後には研究所で研究員として研究を続

けることは一貫性という点では評価できるが、外部の教育機関や研究機関での活動を経験することも重要であろう。そのためにも他の大学、大学院および研究機関との交流の場を積極的に活用できる環境をつくる必要がある。

入学定員からみる学科の規模を、本学と学生数がほぼ同じ国際基督教大学と比較してみる。

津田塾大学	人数	国際基督教大学	人数
英文学科	240人	人文学科	90人
国際関係学科	240人	社会科学科	150人
情報数理科学科	100人	理学科	85人
総計	580人	語学科	95人
		教育学科	50人
		国際関係学科	150人
		総計	620人

学科数の違いがあるとはいえ、本学は一つの学科の規模が大きい。また、3学科と同様の学科を持つ他大学の学部との比較でも規模の大きさは明らかである。さらに、大学志願者の志向が多様化する中で、この学科構成でどこまで学生のニーズに応えられているのか、あるいはいつまで、これだけの学生を集めることができるか疑問が残る。新コースの成果が上がれば、それを機に、学科の再編、新設の検討を開始すべきではないだろうか。新コース「多文化・国際協力コース」の開設を機に置かれた全学将来構想委員会での検討が待たれる。

図表 II-1 設置学部・学科・大学院研究科等一覧表

名称	設置認可年月日	所在地
学芸学部		
英文学科	1948年3月25日 *	東京都小平市津田町2-1-1
国際関係学科	1969年1月6日	〃
数学科(現 情報数理科学科)	1949年2月21日	〃
大学院		
文学研究科英文学専攻		
修士課程	1963年3月29日	〃
後期博士課程	1965年3月27日	〃
国際関係学研究科国際関係論専攻		
修士課程	1974年3月28日	〃
後期博士課程	1976年3月25日	〃
理学研究科数学専攻		
修士課程	1963年3月29日	〃
後期博士課程	1972年3月30日	〃
言語文化研究所	1960年1月	〃
国際関係研究所	1975年7月	〃
数学・計算機科学研究所	1988年4月	〃

*1948年3月25日から1949年2月20日までは英文学部

図表 II-2 教育研究組織表

